

# 地震ハザードマップとは

地震ハザードマップとは、地震災害に関する情報と避難方法などを市民のみなさんに提供することにより、日頃からの防災意識を高めるとともに、いざという時に避難行動がスムーズに行われ、被害を最小限にすることを目的とした地図です。

埼玉県の地震想定をもとに、8つの地震・破壊開始点による地震動を重ね合わせて最大の地震動を算出した結果をもとに、日高市地震ハザードマップとして作成しています。



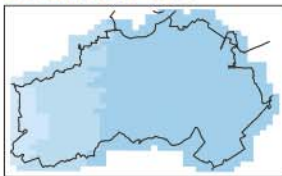
## 埼玉県地震被害想定調査について

埼玉県では、東日本大震災を踏まえ平成24・25年度に新たな地震被害想定調査を実施いたしました。

首都直下地震に係る最新の科学的知見や埼玉県における過去の被害地震を踏まえ、5つの地震(活断層による地震動の推計は、地震による破壊開始の始まる位置の設定で、震度分布が大きく異なるため複数パターンを想定)を想定地震として、地震に関する項目、それによる各種の災害、被害、影響などを予測しました。

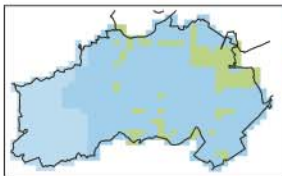
### ■ 海溝型地震

#### 茨城県南部地震



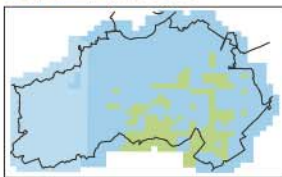
- 海溝型地震
  - マグニチュード7.3
  - 日高市における最大震度：5弱
- フィリピン海プレート上面の震源の深さに関する最新の知見を反映。今後30年以内に南関東地域でM7級の地震が発生する確率：70%

#### 東京湾北部地震



- 海溝型地震
  - マグニチュード7.3
  - 日高市における最大震度：5強
- フィリピン海プレート上面の震源の深さに関する最新の知見を反映。今後30年以内に南関東地域でM7級の地震が発生する確率：70%

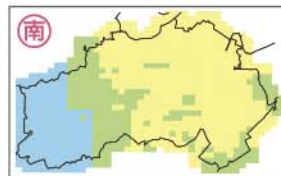
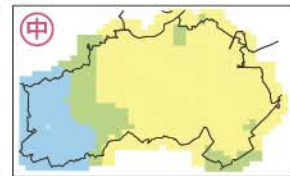
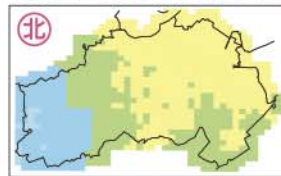
#### 元禄型関東地震



- 海溝型地震
  - マグニチュード8.2
  - 日高市における最大震度：5強
- 1703年に発生した、首都圏に大きな被害をもたらしたとされる巨大地震(マグニチュード8.0)を想定(相模湾～房総沖)。今後30年以内の地震発生確率：ほぼ0%

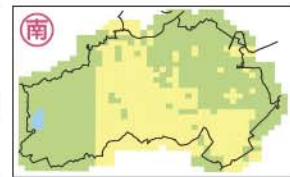
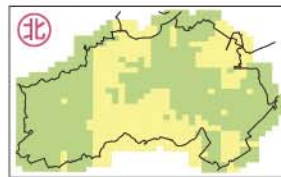
### ■ 活断層型地震

#### 関東平野北西縁断層帯地震



- 活断層型地震
  - マグニチュード8.1
  - 日高市における最大震度：北・中・南=6弱
- 深谷断層と綾瀬川断層を一体の断層帯として想定。今後30年以内の地震発生確率：ほぼ0%~0.008%

#### 立川断層帯地震



- 活断層型地震
  - マグニチュード7.4
  - 日高市における最大震度：北・南=6弱
- 最新の知見に基づく震源条件により検証。今後30年以内の地震発生確率：0.5%~2%

震度3 震度4 震度5弱 震度5強 震度6弱

## マップの種類

### ■ 揺れやすさマップ

「揺れやすさ」は、地盤の状況とそこで起こりうる地震(想定地震)の両面から、地域の揺れやすさを震度として評価したものです。

- ・地域の予想される揺れ(最大震度)を250m単位で分割したメッシュ(網目)ごとに表示

### ■ 建物倒壊危険度マップ

「建物倒壊危険度」は、「揺れやすさ」をもとに、建物の構造や建築年次などの地域データを合わせることで被害を計算し、予想される建物被害の割合を相対的に評価したものです。

- ・地域の建物の全壊棟数率を250m単位で分割したメッシュごとに表示
- ※地震発生時に地図に表示された状況が実際に発生することを示すものではありません。地震の震源や規模等によって、地図上で危険が少ないと表示された地域においても危険な状況になることも考えられます。